

自律した学習者になる

仁科台中学校 学校だより NO. 2 令和2年 4月 7日(火) 発行
文責：永田 治(教頭)

校長先生の式辞 4月 6日(月) 入学式 より

例年になく雪の少ない冬が過ぎ、好天に恵まれ、北アルプスの山々が勇壮な姿を見せる本日、輝かしい令和2年、仁科台中学校出発の日です。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、このような式となりましたが、在校生・職員ともに精いっぱい気持ちを込めて準備をさせていただきました。先月、小学校6年間の学びを終えた123名の新入生を迎え、入学式を挙行できますことは、仁科台中学校を挙げて喜びとするものです。

本日はご多用の中、ご来校いただきました、大町市市長牛越 徹 様、PTA会長 堀 祐介 様、ならびに保護者の皆様に、篤く御礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの緊張を感じながらも、引き締まった表情の中に、仁科台中学生となる決意と意欲を感じます。どうか、今のこの気持ちを忘れることなく、中学生としての心と身体の成長、学びの体験を大事にする気持ちをいつまでも持ち続けてください。

皆さんが入学したこの仁科台中学校は、開校から54年目を迎え、卒業生は12176名。地域に根付いた歴史と伝統がある中学校です。2、3年生の先輩たちは、日々の授業を大事にしながらか、生徒会活動や部活動も充実させて仁科台中学校の良き伝統を受け継ぎ発展させています。大町市や仁科台中学校では、対話的な学びを進めています。これは、これからのみなさんにとって必要な学力をつけるための学びです。グループ学習などで友人の意見を聴いたり、自分の意見を言ったりしながら、考える力を高めようとするものです。

平成が終わり、令和の時代が始まった今、みなさんは答えのない問題に立ち向かわなくてはならない時代を迎えています。そのときに必要な力が、自分の問いを持ち、友や先生の考えを聴きながら、自分の考えを深めていく力なのです。

本校は今年度より、教育目標を「自律した学習者になる」としました。「自律した学習者」とは、自己との対話(振り返り)によって自分の行動を律することができる生徒の姿です。

具体的には、「自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む生徒」「筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える生徒」「自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒」を目指す生徒の姿としています。小学校で身に付けてきた力をさらに伸ばし、中学校の授業で考える力を高め、学校生活の中で人としての力を高めていきましょう。困った時には、2年生や3年生が優しく教えてくれます。学校の先生たちがそばにいます。地域の方々も応援してくれています。



そして、いつも支えてくださるお家の人たちがいます。安心して中学校生活を始めてください。

保護者の皆様に申し上げます。本日は、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。本日、ただ今から、かけがえのない大切なお子様を仁科台中学校の全職員が責任をもってお預かりいたしました。どうか、何かお気づきの点は遠慮なく学校へご連絡いただきたいと思います。家庭と学校との親密な関係が、生徒の成長につながります。今後とも、より一層のご理解、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

本日、新入生を温かく励まして下さったご来賓の皆様、式には参加されなくとも、いつも温かく見守ってくださる地域の方々に感謝し、今後とも益々のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げ、式辞といたします。

令和2年 4月6日
大町市立仁科台中学校長 興 幸雄

入学式にあたって 新入生代表あいさつ



北アルプスの山々の小さな木々の芽が芽吹き始めた今日、私たち123名の新入生は無事に入学式を迎えることができました。

本日はこのような立派な入学式を行って頂きありがとうございます。

思い返すと私たちは、先日まで背中にランドセルを背負い、新型コロナウイルスの騒ぎの中、小学生として、運動に、遊びに、勉強にと、頑張ってきましたが、今日からは、制服を着て少しだけ中学生らしく登校してきました。小学校とはちがい、中学校では、勉強する科目が増えたり、授業時間が長くなったり、また部活動が始まることなど、環境が大きく変わります。これから始まる中学校生活に、不安を感じていますが、それ以上に新しい出会いがある事を期待しています。これからの3年間、勉強や部活に仲間と協力し、先生方や地域の皆様に支えていただきながら精一杯頑張っていきたいと思っております。

まだ私たち新入生は、未熟なことがたくさんあります。先生方、上級生の皆さん、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

令和2年 4月6日
令和2年度 新入生代表 内川 遥斗